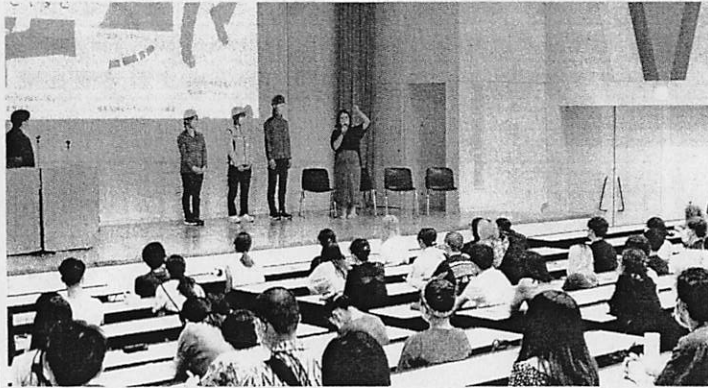


東京モード学園の学生とPJ

オリエンテーションでは、建設業で求められるユニフォームの機能をモデルを使って説明した



女性ユニフォームデザイン

全建協連

全国建設業協同組合連合会(全建協連、青柳剛会長)は、建設業で働く女性のユニフォームのデザインに、東京モード学園の学生と取り組むことにした。同学園でファッションデザインなどを学ぶ2〜4年生からデザインを募る。学生へのオリエンテーションを開き、青柳会長が「女性の活躍の場が建設業で広がって

業界のイメージアップ

いる。皆さんのアイデアが業界のイメージアップにつながる。ユニフォームを通して、皆さんもものづくりを考えることを楽しみにしている」と呼び掛けた。全建協連が同学園とユニフォームのデザインに取り組みるのは今回が2回目。2017年度に行った第1回では男女のユニフォームを募集したが、今回は「建設業で働く女性のためのユニフォームデザインプロジェクト」自信と誇りを着るII」として、女性の技術者・

技能者向けに絞った。9月に作品の提出を締め切り、10月18日に審査会(審査委員長・古谷誠章早稲田大学理工学術院教授)を開く。審査結果を受け、最優秀賞と優秀賞の作品の試作品をミドリ安全が作成し、23年2月22日に発表会を開くことにしている。オリエンテーションでは、全建協連の小池英雄専務理事が建設業の役割や現状などを説明。女性活用を推進する官民の取り組みによって、建設業で働く女性が増加してい



私はシラスコンクリートが大好きです。高校3年生のときに鹿児島大学工学部海洋土木工学科の先生の講演を聞き、鹿児島県特有のシラスを材料としたコンクリートである、シラスコンクリートの存在を知りました。この講演をきっかけにシラスコンクリートに興味を持ち、大学でシラスコンクリートについて

の研究をしたいと考えているようになりました。鹿児島大学に入学してからさまざまなことを学んでいく中でもその思いは変わららず、建設材料研究室への所属を希望しました。卒業論文では、シラスコンクリートをブラッシュアップして、個別用途に対応できるコンクリートへ進化させたいと考えています。研究室で過ごす中で初めて知ることや分からないことも多いですが、先生や先輩方に支えられながら、日々研究に励んでいます。研究室ではお互いの研究の手伝いをすることも多く、建設材料の中でも幅広い研究に触れることができます。また、公務員の方や企

シラスコンで貢献



猿渡 幸子さん
鹿児島大学 工学部 4年
海洋土木工学科

業の方など多くの方と関わる機会や、人前で発表する機会もあります。土木に関する知識を深められるだけな

く、人としても成長できる環境だと感じています。来年度からは大学院に進学し、シラスコン

クリートについてより深く研究していきたいと考えています。そして、シラスコンクリートが多く土木構造物に利用される成果が得られるような研究をしたいです。卒業後の進路については未定ですが、地元鹿児島に貢献できるような土木技術者になりたいと考えています。

来月の「輝け若人」は
奄美高等学校
を紹介します